



令和元年度

但馬産業大賞

令和2年3月



審査委員会／令和2年1月31日(金)

表彰式／令和2年3月1日(日)





兵庫県但馬県民局長
古川 直行

ごあいさつ

兵庫県は、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国それぞれに豊かな歴史・文化・産業が息づき、多様な個性に彩られています。その中でもここ但馬では、豊かな自然を生かした農林水産業、伝統技術や高度な技術を有するものづくり産業、人々に憩いと安らぎを与える観光産業など、多彩な産業が地域の発展を支えてきました。

そうした中、これからの但馬の産業をリードすると期待される独創的な技術をもつ企業、地域資源を有効活用する企業、新分野にチャレンジする企業等に、「但馬産業大賞」をお贈りしています。今年も、創意工夫と意欲あふれる4つの企業が受賞者として決まりました。受賞される皆様に心からお喜び申し上げます。

但馬地域は、加速度的な人口減少や少子高齢化、とりわけ若者の域外流出が進む中、地域経済の活性化など解決に向けて取り組むべき課題を多く抱えています。今後地域の活力を維持するため、様々な取り組みを進めています。

日本農業遺産に認定され、世界農業遺産認定を目指した取り組みが進む「兵庫美方地域の但馬牛システム」や、日本遺産の認定を受けている「鉱石の道」「北前船」「麒麟獅子舞」、ユネスコ世界ジオパークとして再認定された「山陰海岸ジオパーク」などの豊かな資源を活用し、地域の魅力をさらに高めてまいります。

また、昨年開港25周年を迎えた但馬空港は過去最高の利用者数となり、今年2月には、但馬の空の玄関口にふさわしい空港となるよう、有識者や地元代表者等からの意見を聴取する「但馬空港のあり方懇話会」が開催されました。来年4月に開学予定の「国際観光芸術専門職大学（仮称）」や第1回豊岡演劇祭の開催、劇団「青年団」の但馬移転等により新たに芽生えた“芸術の力”を生かした地域づくりなど、但馬にしかない地域の強みを最大限に発揮した取り組みを実施することにより、交流人口の拡大、移住・定住を促進し、将来にわたり活力ある地域社会の構築を目指していきます。

こうした地域の魅力を高める施策を着実に進めていくことにより、「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生を推進して参ります。

結びに、受賞されました皆様には、今後とも意欲的な事業活動を通じ、あすの但馬づくりの推進役としてご活躍いただけることを期待しています。



審査委員長

内田 仁

(兵庫県立工業技術センター所長)

講 評

但馬地域には、業界でトップシェアの技術力を持つ製造業、豊岡かばんなどの地場産業に加え、山陰海岸ジオパークをはじめとした豊かな自然環境と豊富な観光資源を生かした多くの産業が存在します。今年度も、関係団体からご推薦をいただいた事業者について、6名の審査委員が技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。

その結果、令和元年度但馬産業大賞は、3部門で4者が受賞されることとなりましたので、ご紹介いたします。

まず、キラリと光る世界へ輝く技術部門です。大豊機工株式会社は、工作機械の製造・組立工程に不可欠なミクロン単位の「きさげ加工」に対応できる人材育成と、それによる信頼性の高い製品づくりを実現しています。また、但馬地域で初めて、若者の採用・育成に積極的な企業に送られる「ユースエール認定」を受けており、社員のモチベーション維持と技術継承に積極的な点も高く評価されました。

同部門の、やくの麺業株式会社は、蓄積された技術力で乾麺・冷凍麺や、半生麺の「別注麺」製造を、顧客ニーズに合わせて小ロット受注している点が評価されました。大量のトンオーダーではなく35キログラムという少量から受注に応じることで、飲食店の新製品を共同開発するとともにそのリスクを軽減し、地域を盛り上げようと取り組む農業団体の6次産業化へも貢献しています。

続いて、自然と共生する環境創造事業部門です。株式会社キヅキ商会は、雪深く太陽光発電に向かない但馬地域の風土に応じた設計・施工・アフターケアを行い、着実に実績をあげています。整地等が不要で、農地への復元も容易な工法により、耕作放棄地の有効活用モデルとなることも評価されました。また、太陽光発電で得られた電気を、災害時に地域住民等に開放する「おすそわけ電源の輪プロジェクト」に設置者と共同で取り組んでおり、今後が期待されます。

最後に、新分野へチャレンジする経営革新部門です。ナカバヤシ株式会社兵庫工場は、養父市が農業特区認定を受けたのを契機に、本業である製本業の繁忙期と閑散期の人材の平準化を図るため、にんにく栽培へと参入しました。まさしく畑違いな、新分野へのチャレンジングな取り組みが評価されました。また、新たに14人の雇用を生み出し、年々耕作地も増えているなど、耕作放棄地の課題を抱える中山間地域において、多大な貢献を果たしています。

受賞者の皆様が、この受賞を契機にますます研鑽を重ね、さらなる飛躍を遂げられますように祈念いたしまして、講評といたします。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名

大豊機工 株式会社 高度なものづくりを支える職人技「きさげ」を用いた信頼性の高い製品づくり

やくの麺業 株式会社 飲食店や農業団体のニーズに応じた「別注麺」の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

受賞者名

株式会社 キヅキ商会 非常時の備えとなる環境に優しい太陽光発電を雪深い但馬地域でも推進・普及

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

受賞者名

ナカバヤシ 株式会社
兵庫工場 農業参入により雇用の維持と本業の技術継承を実現

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

| | | |
|-------------------|------|----------------|
| 兵庫県立工業技術センター | 所 長 | 内 田 仁 (委員長) |
| 兵庫県立但馬技術大学校 | 大学校長 | 奥 田 孝 一 (副委員長) |
| (公財)ひょうご産業活性化センター | 常務理事 | 政 辻 孝 克 |
| (公社)ひょうご観光本部 | 専務理事 | 高 橋 幹 雄 |
| 兵庫県北部農業技術センター | 所 長 | 池 内 俊 久 |
| (公財)但馬ふるさとづくり協会 | 事務局長 | 高 柳 光 昭 |



大豊機工 株式会社

高度なものづくりを支える職人技「きさげ」を用いた信頼性の高い製品づくり

「きさげ加工」とは、金属の表面に施す加工の一種であり、すべり面の摩擦抵抗を減らしたり、機械加工では出せない超高精度な面の長期間確保などの目的で行われる。

機械加工でも高精度を出せるが、手作業で行う同社の「きさげ加工」は、それを上回る超高精度を誇り、信頼性の高い工作機械づくりを実現しており、あらゆる分野のものづくりに貢献している。

その信頼性と、自社製品への自信を基に、通常 1 年間の精度保証を業界に先駆けて 3 年間へと延長した。

また、この技術を習得するには、人材育成に 5 ～ 10 年かかると言われるが、社員のモチベーション維持と技術継承のため、資格取得支援や働きやすい環境づくりを行っている。但馬地域で初めてユースエール認証を取得、さらにそうした取り組みを積極的に発信し、現在では 7 事業所が同社に続いて認証を得るなど、周辺企業の手本として、地域の雇用環境整備に貢献している。



きさげ加工作業の様子



きさげ加工後



マシニングセンタ組立作業



汎用機組立作業

会社沿革

設立：1965年(昭和40年)3月
所在地：本社及び工場 兵庫県豊岡市中陰470番地
関西営業所 兵庫県伊丹市北伊丹8-10-1
(OKK(株)本社工場内)

資本金：94,000千円
従業員数：115名(2019年4月1日現在)
営業品目：工作機械製造・関連部品製作・各種属加工・組立
水道メーター製造・関連機器・ソフトウェア・工事
株主：OKK株式会社(旧社名:大阪機工(株))100%

会社住所

兵庫県豊岡市中陰470番地
TEL 0796-23-1500
FAX 0796-24-1558
HP:<https://www.okkt.co.jp/>

やくの麺業 株式会社

飲食店や農業団体のニーズに応じた「別注麺」の開発

同社は、大手チェーン店等との取引を通じて蓄積されたノウハウと技術力で、取引先のニーズに合わせた製麺受注を実現している。多くの製麺会社が、別注麺の最低ロットは1トンからだが、同社は35kgという少量から受注に応じており、その独自の経営手法で企業価値を向上している。小ロットの別注麺受注は、飲食店や農業団体自らが新商品開発を行う際のリスクを軽減し、地域で産出される農産品などを活用した、農業の6次産業化へも貢献している。

取引先から求められる食感、ゆで時間などのニーズにきめ細かく対応し、製麺のアウトソーシングによる省力化（人手不足対策）や、こだわりの新製品開発へ大きな役割を果たすとともに、「朝倉山椒」や「岩津ネギ」といった、地元農産品の味や香りを生かした特産品など、様々な別注麺を共同開発している。

また、龍谷大学と和歌山県有田市のみかん農家との産学連携による「みかんうどん」開発の実績もあり、新分野の開拓にも積極的に取り組んでいる。



製麺機



圧力釜



地元農産品を生かした特産品



半生商品



従業員と商品

会社沿革

- 1934年 創業
- 1963年 「夜久野そば」の製造開始
- 1975年 乾麺製造開始
- 1976年 やくの麺業株式会社設立 代表取締役細見政雄
- 1983年 半生麺製造開始
- 1986年 冷凍麺製造開始
- 1989年 細見守が2代目代表取締役に就任
- 1995年 事業拡大に伴い新工場設立
- 2007年 インターネットショッピングを本格化
- 2015年 包丁切りシステムを導入
- 2018年 山縣直樹が3代目代表取締役に就任
- 2019年 事業拡大に伴い工場増設及び新ライン導入

会社住所

兵庫県朝来市山東町溝黒421番地
 TEL 079-676-2130
 FAX 079-676-4452
 E-mail: info@yakunosoba.co.jp
 HP: http://www.yakunosoba.co.jp



株式会社 キヅキ商会

非常時の備えとなる環境に優しい太陽光発電を雪深い但馬地域でも推進・普及

多雪・曇天・傾斜地が多く太陽光発電に不利な但馬地域で、100カ所以上の発電プラント設置実績をあげている。いち早く2012年より実地検証を開始するなど先見性に優れ、検証データから地域特性に応じた設計・施行・アフターケアを行い、但馬地域の再生可能エネルギーの普及に貢献した。大規模な伐採や整地が不要で、環境負荷も少なく農地への復元も容易な独自のコンクリート基礎工法を用い、耕作放棄地の有効活用モデルともなっている。

また、設置箇所の8割が本社の所在する豊岡市内にあり、発電プラント全体の7割をオンライン監視するなど、地元での施工・設計と行き届いたアフターケアにこだわり、設置者の信頼を獲得している。

その信頼を元に設置者と共同で取り組む「おすそわけ電源の輪プロジェクト」は、設置者が太陽光発電で得た電気を、災害による長期停電時に地域住民等に開放する取り組みで、同社はその給電にかかる工事費を負担し、地域貢献を果たしている。



パネルは工場の遮熱にも有効



増え続ける遊休土地を活用



雪を知り尽くした設計



「おすそわけ電源の輪」看板



専用計測器による点検

会社沿革

- 大正 15年 8月 山陰コンクリート工業所として二次製品の製造販売を開始
- 昭和 3年 5月 商号をキヅキ建材店と改称し、土木建築資材の卸売と小売を拡大
- 昭和 26年 3月 旭硝子・日本板硝子の板ガラス販売開始、工事部も設立
- 昭和 27年 7月 現本社地において、株式会社 キヅキ商会として改組
- 昭和 42年 4月 ミキサープラントを設立し、生コンクリート製造販売を開始
- 平成 11年 4月 本社内を改組、住宅資材部を設立。取扱い品目の拡大を目指す
- 平成 22年 1月 本社内を改組、住環境事業部として全体をまとめ、更なる連携により対応力の拡大と付加価値向上を目指す
- 平成 23年 3月 東日本大震災をきっかけに、産業用太陽光発電の請負が急拡大
- 平成 30年 4月 省エネ機器の受注増。職場のエネルギー使用の最適化のコンサル事業を拡大。快適さ、生産性、BCP対策の提案も開始

会社住所

兵庫県豊岡市元町 11 番 21 号
 TEL 0796-22-5169
 FAX 0796-24-2568
 E-mail:kzk@rhythm.ocn.ne.jp
 HP:http://www.kizuki-s.com/

ナカバヤシ 株式会社 兵庫工場

農業参入により雇用の維持と本業の技術継承を実現

同社は昭和48年に操業開始し、主に雑誌の合冊製本や古文書の修復を行っており、製本業は年間で繁閑の差が大きいことから、閑散期の雇用維持と技術継承が課題であった。そこで、本業の閑散期とにんにく栽培の繁忙期が重なることに着目し、養父市の農業特区認定を契機に新分野である農業へと参入した。

にんにく栽培の忙しい4～6月・10～12月にかけて、従業員を農業へと従事させることで、年間を通じた人材活用の平準化を実現するとともに、農業の専従者など新たに14名の雇用を生み出した。

2016年には4トンだったにんにくの収穫高も、2019年には84トンまで増加し、その為に借り上げた約10haの耕作地には多くの耕作放棄地が含まれており、中山間地域の課題である耕作放棄地問題の解決に、大きく貢献している。

また、「黒にんにく」や「にんにくおかき」の商品化など、6次産業化による自立した農業を目指し、市内で最初にJGAP認証を取得するなど、独自の取り組みを実施している。



白にんにく、黒にんにく



根切り作業



にんにくと製本



畝立て・マルチかけ



製本

会社沿革

- 昭和48年 養父市大屋町に図書館製本の主力工場として新設
- 昭和56年 養父市関宮町に関宮ナカバヤシを設立
- 平成20年 大屋と関宮の工場を合併し兵庫ナカバヤシ株式会社発足
- 平成27年 関宮工場で水耕栽培を開始
- 平成27年 大屋町内で耕作放棄地を利用し、にんにくの栽培を開始
- 平成29年 大屋町内ににんにくの作業拠点を整備
- 平成30年 JGAPを取得
- 令和元年 親会社であるナカバヤシ株式会社と合併

会社住所

兵庫県養父市大屋町笠谷111番地
TEL 079-669-0227
FAX 079-669-1846
HP:<http://www.nakabayashi.co.jp/>

歴代の受賞者

平成19年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 ビトーアールアンドディー

ノース用オーバホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但東町花卉球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

農家民宿「八平だるま」 能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

平成20年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼルの燃料に活用)

神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

平成21年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生酏・山麴酏)にこだわり世界に通用する味を追求

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

NPO法人 八千高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

平成22年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

美岡工業 株式会社

大型・小型・精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

株式会社 オーシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし「ゆめば」の導入

和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

平成23年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャンダイジングを展開

大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農商工連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

平成24年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 多田スミス

鑄造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鑄造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組む但馬地域で、6次産業を観光に生かす地域資源と一体となった観光誘客を推進

全但バス株式会社 やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

平成25年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

東海パネ工業 株式会社(豊岡神美台工場)

熟練職人の作り込みを再現した熱間コイリングマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種少量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方「見る・食べる・学ぶ」を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 コンゴプロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない!「サブリメイトボード」の開発

カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源(どぶろく)を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶロック」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

平成26年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震プレースX」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 グリーンウィンド 道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

株式会社 サン・ウォーター

兵庫県最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進

平成27年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

新生化学工業株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造 株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

区分 自然と共生する環境創造事業部門

コウノトリ育むお米 生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立する事例として国内外に広く発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 湯村温泉 愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、サップボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

八鹿鉄工 株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

平成28年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

二方蒲鉾 株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品「濃香アゴ短冊」を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

一般社団法人 八チ北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘致に努め、村岡区の発展に大きく寄与

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

平成29年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

田治米 合名会社

「一粒の米にも無限の力あり」の理念のもと、純米酒に特化した酒造りと海外への販売展開

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

若杉高原開発企業組合

星空ハイキングをはじめ、ファミリー向け企画でここだけの体験を提供する「四季型スキー場」

有限会社 さだ助

山陰海岸ジオパークの豊かな海の幸を様々な形で提供する新たな観光拠点KAN-ICHI

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 石橋設計

不動産会社による映画館の復活と施設を有効利用した地域コミュニティスペースとビジネス空間の創出

株式会社 谷常製菓

農業参入への新たなチャレンジ。自社栽培イチゴを活用した新ブランド「完熟いちご菓子研究所」の取組み

平成30年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 オフテクス(豊岡工場)

世界初のポビドンヨードを使用したコンタクトレンズのケア用品の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

JAたじま 出石フクノハナ生産部会

全国唯一(オンリー・ワン)の酒造好適米「フクノハナ」の生産

JAたじま つちかおり米協議会

安全安心なお米と消費者交流の礎となった「つちかおり米」の生産

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 ハマダセイ

地元魚介類を活用した新商品で、5年連続「五つ星ようこ」に選定

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

キヌガワ 株式会社

靴のクリーニングから修理までアフターメンテナンスに一貫して対応

有限会社 花房商店

醤油製造で培った技術を活用した新たな発酵食品ブランドの開発

但馬漁業協同組合

但馬の豊かな魚資源を活用した「麴の魚醤」など自社ブランドの商品の開発



兵庫県但馬県民局
地域政策室 地域づくり課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3685